

総領事の活動報告(11月上旬)

マイアミからオーランド、ゲインズビルへ

平成 23 年 11 月 13 日

在マイアミ総領事

川原 英一

今月上旬には、沢山の行事・活動がありました。簡単に御紹介を申し上げます。

■ Western High School 訪問

11 月 2 日、マイアミから 40 分ほど北西にあるブロード郡デービー市の Western High School を訪問しました。デビッド・ジョーンズ校長先生、ブロード郡スクールボード(教育委員会)の方、フィッシャー聡子先生と懇談致しました。当方から、校長先生に対して、ブロード郡で最も経験豊富かつ優秀な日本語教師の活躍と学校側の暖かい理解と支援により、日本語クラスから優秀な生徒が育っており、今夏から始まったばかりの JET 記念招待事業への全米高



校生招待者全 21 名のうち一人は、同高校の生徒であった、校長先生と学校教職員の方々の温かい御指導があり、恵まれた日本語教育環境の中で、優秀な生徒さんを輩出されていることに敬意と感謝の念をお伝え申し上げました。ジョーンズ校長先生からは、今年 4 月から校長として転任してきたばかりの自分が謝辞を頂けることは大変に幸運、世界は小さく・身近に感じられる時代にあっ

て、今朝の報道のように、ギリシャ債務危機が欧州や米国経済に瞬時にして影響を与える時代であり、生徒には、外国語を学んで、外に目を開いてもらう重要性が極めて大きいと感じています、とのお話がありました。<左上写真:校長先生(真中)に、これまでの良質な日本語クラス授

業運営への感謝状を贈呈> フィッシャー・聡子先生から、生徒の関心を高めるため、日本語教材の一環として日本のスーパーのチラシ、米国関連のファーストフードの日本店のメニュー、日本のデパートのポスター、アニメかるた等を利用して、生徒にとり日本社会事情の身近な勉強にもなり、大いに喜んで学んでくれています、とのお話がありました。

◆メンシア・フロリダ開発公社副総裁との懇談

11 月 4 日、メンシア・フロリダ州経済開発公社副総裁とフロリダ州と和歌山県との姉妹都市関係の強化やパナマ運河が 2014 年に拡張工事を完工するのに伴う貨物量増大とフロリダ港の対応などのお話を伺いました。メンシア副総裁からは、11 月中旬の仁坂和歌山県知事のフロリダ州都への訪問に向けたフロリダ州側の準備状況についての説明がありました。同副総



裁から、日本の方々がどの程度の関心を持って見ておられるのか、未だ良くわからないのですが、と前置きしつつ、2014 年に完工するパナマ運河拡張後は、パナマ運河経由の米国東海

岸向けのコンテナ貨物輸送コストが大幅削減されるので、パナマ運河を利用した日本やアジアからの貨物の増大を見込んでいるとの説明がありました。当方より、来年秋の日米・南東部会合同会議の際に、コンテナ貨物輸送のパナマ運河経由マイアミ港を利用した場合の具体的な輸送コストの削減、陸揚した後の貨物鉄道・道路輸送インフラ面でのマイアミの利点等を具体的に説明されてはどうか、と助言を差し上げました。

マイアミ補習校運動会

11月5日午後、マイアミ補習校の運動会が市内公園を借りて行われました。幼稚園児から中学生生徒と御父母の方々を併せて300名以上の多数の方が参加する在留邦人による一大イベントです。玉入れ(左下写真)、綱引き(右下写真)、二人三脚、徒競走・リレー等、そして、補習校名物となりつつある南中(北海道稚内南中学)ソーラン踊り(真中の写真)などが繰り広げられました。秋晴れの中、児童・生徒が紅白に分かれ、対抗戦で盛り上がりました。ご父母の皆様とボランティアの方々の大活躍があり、大変に素晴らしい運動会となり、当方も楽しく拝見させて頂きました。



10回目を迎えたオーランド日本祭り

オーランド日本祭りは、2001年の開始から今年で10回目を迎え、11月6日午後開催され



ました。地元の参加者は、5千名近くと大盛況でした。日本関係のブース(オーランド補習校、三越、JTB、総領事館、オーランド市国際交流委、地元日本食レストランなど)が多く出展しました。当日の朝は、買物目当ての地元の人が開始前から行列して待っていた様子です。午後12時から、会場ステージでは、地元の子供達による100人太鼓で始まり、同演奏後、当方、スチュアート・オーランド市長代行(左写真の中央)、ローゼン・オーランド名誉日本総領事(左下写真の左側の方)の御挨拶がありました。



当方からは、地元日本祭り実施各団体への感謝、3.11被災地域の復興、日本観光促進やオーランド市の姉妹都市である浦安市の大震災被害へ今回の日本祭りの収益の一部が寄付されることに感謝を申し上げました。

日本舞踊として、福島県の相馬踊りが色鮮やかな着物



姿の地元在留邦人の方々により披露されました(左側写真:日本舞踊メンバーの方々と出演前に撮影)。

また、オーランドへ出張した折に、同地域に在住する元JET(日本の地方自治体への英語教師派遣プログラム)メンバーを当方がお招きし、懇談会も行いました。JET派遣1期生(87年堺市派遣)や昨年のオーランドJETAA支部長(徳島派遣)など8名が参

集してくれて、懇談は日本各地の話題などで大いに盛り上がりました。

ゲインズビルの市長との懇談

11月7日にゲインズビル市庁舎を訪問し、ロー市長(右写真)にお会いしました。地元フロリダ大学の動物学科修士課程卒業生であり、昨年5月に新市長にご就任されました。当面の市政課題をお尋ねすると、経済発展と雇用、エネルギー転換があるとの御回答でした。同市では独自に発電・供給できる施設があること、現在の電力供給は火力発電が中心であり、環境に良いソーラー・エネルギーや地元によくある廃材によるバイオ・エネルギーを今後、どんどん利用・普及させたいと熱く語っておられました。



フロリダ大学キャンパス(ゲインズビル)訪問

11月7日、州内公立大学の中で、唯一、日本学科(日本語・日本文学・文化)が古くから設置されているフロリダ大学(UF)を訪問して、大変に興味深い先生方にお会い出来ました。若手日本語講師に和歌山県出身者と岩国市出身者のお二方がおり、各々米国の大学で日本語教授法などを学び、同学科で6-7年勤務する新進気鋭の先生です。又、准教授スーザン・クボタさんのように、15歳の時に源氏物語の英訳を読んで感動し、その後、ミシガン大で川端康成を研究された方、ジョセフ・マーフィ准教授のように、元々、機械工学専攻学生であったのが、英語訳の村上龍(限りなき透明に近いブルー)、「枕草子」を読んで内容に大変関心を持ち、途中から日本文学を志され、14年間日本学科で勤務され、最近、プリンストン大学の日本文学の先生と共著で夏目漱石論を心理学・脳科学の観点からまとめた本を出しておられます。また、日本語クラス(2年生の授業と4年生の授業の後半)を拝見出来ました。2年生のクラス



では、日本語表現について文法をしっかり教授しており、生徒達が極めて一緒に懸命に勉強し、かなり漢字も読めていることに感心しました。

フロリダ大学ジョセフ・グローバー副学長(左側写真)とお会いした際、当方からUFの日本学科卒業生がJETの選抜試験で毎年良い成績を収めて、英語教師として日本の各自

治体へ派遣されており、UFの日本学科教員の方には是非お会いしたく訪問した旨ご説明を行い、併せてJET招聘により、過去 25 年間に約2.7万人の米国の大学卒業生が日本の地方自治体の高校などに英語補助教員として活躍したこと、日本の地方の文化との繋がりがある方が多く、当総領事館・邦人社会とのネットワークを今後強化し、州内の日本文化関連行事へ積極的に参加するよう奨励していますとお話しました。同副学長は、JET試験に受かる優秀な卒業生を本大学が毎年輩出している、との良い話を初めて聞きましたと正直に述べられ、当方も今回お会い出来て、非常に良かったと感じました。元々、数学者の副学長からは、京都賞の話や日本の数学者の友人の名前も挙がりました。(了)